

令和2年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	1 明るく健康で、礼儀正しい生徒の育成 2 自分で目標を定め、それに向かって専心努力する生徒の育成 3 新しい時代を主体的に切り拓く、心豊かで、逞しい生徒の育成
(2) 現状と課題	本校は基礎学力が定着していない生徒が多いことから学習意欲もそれほど高くなく、高校生活の目的意識や進路意識も低い傾向にある。したがって、普通科における特色ある教育活動の推進と進学指導体制の整備が課題である。また、食物調理科においては、取得資格を活かした進路選択ができるよう、キャリア教育の充実を図ることが課題である。
(3) 重点目標	1 魅力ある教育活動の推進(魅力ある百石高校の創造) 2 授業の充実(授業第一主義「分かって、できて、おもしろい授業」) 3 生徒指導の充実(秩序ある学校生活、安心して学べる環境作り) 4 キャリア教育と進路指導の充実(生徒全員の進路志望の実現)
(4) 結果の公表	本報告書を学校ホームページに掲載するとともに、次年度のPTA総会で保護者に公表する。

学校整理番号	28
学 校 名	青森県立百石高等学校
全日制の課程	校舎
自己評価実施日	令和 3 年 1 月 22 日(金)
学校関係者評価実施日	令和 3 年 2 月 16 日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
保護者 1 名・学校評議員 3 名 計 4 名

自 己 評 価				学校関係者評価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	①学科の魅力作りを促進するため、教育課程の編成に創意工夫する。 ②地域との連携を図るとともに、食に関する知識・技術の向上を図る。 ③学校のアピールポイントを積極的に情報発信する。	①各教科の特性を活かした教育課程を編成する。 ②食育教室、高校生レストランの運営、地域行事への参加、料理コンテストへの参加。 ③学校ホームページ、学校通信、学校掲示板、報道等へ情報発信する。	①普通科の教育課程の変更が完了した。 ②食育教室や例年の行事は、新型コロナウイルス感染防止のため実施や参加ができなかった。高校生レストランは、ドライブスルーの弁当販売形式にし、3回実施できた。 ③ホームページの更新や学校通信、「記事になった百高」、学校掲示板、新聞やテレビを通して学校の情報を発信することができた。	A	・特色ある取り組みは、大きなアピールポイントであるから内容の充実と共に積極的に発信して欲しい。 ・高校生レストランは、百石高校の特徴となっているので、工夫をこらし、継続した活動に期待する。 ・学校を紹介する方法に工夫が欲しい。例えば同年代の俳優やOB・OGを出演させたビデオ作成などを検討してもいいと思う。	・今後は新学習指導要領の完全実施に向けた教育課程の編成を行う。 ・地域と連携した活動は、内容を精選しながら実施していきたい。また、高校生レストランは、運営内容を随時検討しながら継続したい。 ・既存の情報提供手段を効果的に活用し、適宜学校の情報発信に務める。
2	①基礎学力の向上 ②主体的・対話的・協働的に学習する態度を育成していくための授業環境を整備する。 ③探究型学習の充実を図る。	①基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、教科、学年と連携し、生徒の実態に応じた学習指導を行う。 ②協働的な授業におけるICT機器の活用を促す。 ③地域における実態調査や課題、興味のある職業等をテーマにした学習活動を実践する。	①6教科で少人数授業やチームティーチングによる授業を実施した。 ②タブレットやプロジェクターを活用した授業が各教科で実施された。 ③総合的な探究の時間を活用し、地域課題や職業等の疑問点や問題点をまとめ、社会の中での自分の役割を考えたり、収集した情報を整理、分析検証する力を養成したりした。	A	・基礎学力を向上させ教材アイテムを活用することで、学校全体のレベルアップを図り、個々の学力と自学力も身につくと思う。 ・タブレットの使用など、ICT機器を活用した学習内容は良好である。	・授業研究週間を設定し、教員アンケートを参考にし、より効果的な取組みとしたい。 ・総合的な探究の時間を通して、地域課題等の課題解決学習活動を継続したい。 ・生徒1人に1台のタブレットが整備されるため、その活用について学校全体で検討する。
3	①規範意識の醸成と基本的生活習慣を定着させる。 ②生徒会活動、学校行事、部活動を通して、心身共に調和のとれた発達を促す。 ③家庭、地域との緊密な連携を図り、生徒個々の健全な育成に努める。 ④いじめに関する未然防止対策やSNS等の利用方法を適切に指導する。	①登校指導、校外指導を実施し、毅然とした態度で指導を心がけ、教員間の温度差のない指導を行う。 ②生徒会活動、学校行事、部活動を通して、生徒の自主性と人権・人格を尊重し、思いやり心・感動する心の育成を図る。 ③家庭、中学校及び地域の関係機関との連携を強化し、生活指導の充実を図る。 ④いじめアンケート等の定期的な実施や携帯電話教室などを実施する。	①登校指導を11回、下校指導を6回、服装容儀指導を10回実施した。少しずつではあるが改善が見られた。 ②学校行事はコロナ禍の中、工夫をしながら生徒会を中心に部活動生徒の力を借りながら成功させることができた。 ③地区の小中学校生徒指導協議会へ出席し、情報を共有・提供できた。長期休業に向けては、諸注意を保護者宛に配布し協力を得た。 ④いじめのアンケートは3回、家庭生活アンケートは2回実施した。	A	・社会性や協調性を養う取組みに関しては、先生方の負担も大きいので、部活動指導、いじめやSNS等の対策には外部の力を活用することについて検討を希望する。 ・学校側の意識と保護者側の意識との乖離がないか検証し、適切な対応をお願いする。	・他分掌の教職員と協力しながら、登校指導や服装容儀指導等を進めたい。 ・生徒数や教員数の減少を考え、活動を活性化させながら、部活動数の削減や適切な予算配分に努めたい。 ・地域・家庭との連携はホームページだけではなく、紙面による周知・連絡を適宜行いたい。 ・実施したいいじめアンケート等を有効に活用し、生徒の指導に生かしながら、未然防止に繋げていきたい。
4	①キャリア教育指導体制の整備・充実を行う。 ②主体的に進路選択をするために、啓発的な体験活動を実施する。 ③家庭や地域との連携を深め、理解と協力を得ながら、進路指導にあたる。	①全職員の共通理解を図り、段階的かつ長期的な計画に基づいた効果的な指導を行う。 ②ガイダンス機能を充実させ、自己理解を深め個性の伸長を図り、啓発的な体験活動を通して、進路選択ができるようにする。 ③進路通信の発行やPTA集会等を利用し、保護者への進路意識の意識啓発を行う。おいらせ町の支援事業を活用し、資格取得を推進する。	①進路に関わる行事や3学年の面接指導、1・2学年のスタディサプリの活用等を通じて、全職員が協力して指導に当たった。 ②すべての行事を行うことはできなかったが代替の行事を行ったり、体験活動を通じて自分の進路について考える機会を設けたりした。 ③進路通信の作成や学校通信へのデータ提供を行い、進路行事や進路達成状況等の情報を発信した。各教科の働きかけにより、資格取得に向けて講習会を行った。	B	・多様な進路選択が可能になるような取組みができて、先生方の負担軽減をし、PTAや外部講師の活用などを検討してみたい。 ・経済的に進学が困難な生徒には、公立の短大等への進学ができるように助言してはどうか。 ・町の助成等を活用しながら、部活動、学習指導、進路指導が魅力あるものになるよう、引き続き指導して欲しい。	・複数の業務を抱えながら進路に関わる業務が増えることで先生方の負担感が強くないよう、工夫をした取組みを検討したい。 ・1～3学年の発達段階に応じてキャリア発達がなされるよう、全体的に系統立てた取組みを再検討したい。 ・進路通信等を活用しながら、家庭や地域へ情報発信を継続して行いたい。また、保護者集会を開催し、他分掌や学年等と連携して進学等の費用等に関する内容を周知したい。

(11) 総括	新学習指導要領の完全実施に向けた教育課程の編成を完了させたい。携帯電話使用上のモラルの遵守徹底やより良い人間関係の構築に関し、指導の工夫を検討したい。外部関係者による面接指導や、全職員による3年生の進学・就職指導を行い、生徒一人一人の進路決定に向けた取組みを充実させることができたので、今後は国公立大学を志望する生徒への指導のため、ポートフォリオや小論文指導の教員研修を取り入れ、多様な進路に対応できるよう指導方法の研究を進めたい。保護者への情報発信については、内容を吟味し効果的に伝わるような工夫をしたい。
---------	--